

情報処理学会東北支部 平成19年度 通常総会

日時 : 平成19年5月9日(水) 13:00~14:00
場所 : 東北大学 工学部 電子情報システム・応物系 1号館 451・453 会議室
住所 : 〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-05

次第

- I 開会
- II 総会成立報告 資料1
- III 支部長挨拶
- IV 議長選出
- V 議事
 - (表彰)
 - 1. 平成18年度 東北支部学生奨励賞の選考結果報告 資料2
 - 2. 平成18年度 東北支部奨励賞の選考結果報告 資料3
 - 3. 平成18年度 東北支部奨励賞 贈呈
 - 4. 第2回 東北支部野口研究奨励賞の選考結果報告 資料4
 - 5. 第2回 東北支部野口研究奨励賞 贈呈
 - (報告事項)
 - 1. 東北支部学生奨励賞の推薦依頼校について 資料5, 資料6
 - 2. その他 2007年総第209号
 - (審議事項)
 - 1. 平成18年度活動報告について 資料7
 - 2. 平成18年度決算について 資料8, 資料9
 - 3. 平成19年度役員改選について 資料10, 資料11, 資料12
 - 4. 平成19年度事業計画について 資料13
 - 5. 平成19年度予算について 資料14
 - 6. 東北支部規約の改正について 資料15, 資料16
 - 7. その他
 - 1. 平成19年度電気関係学会東北支部連合大会について 資料17
- (学会概況報告)
 - 1. 学会概況報告
- VI 閉会

情報処理学会東北支部
平成19年度 通常総会の成立について

総会出席者数 : 179 名 (委任状 153 名を含む)

支部正会員数 : 653 名 (4月1日現在)

以上により、正会員数の10分の1を超えているので、本総会は成立する。

(東北支部規約より抜粋)

第9条 2項 支部総会は、支部正会員の10分の1以上の出席をもって成立する。ただし、あらかじめ委任状を提出した者は出席者とみなす。

情報処理学会東北支部
平成18年度 学生奨励賞 受賞者一覧

情報関連学科を持つ主要大学等10校に成績優秀者の推薦をお願いしたところ、下記の9名について、それぞれ推薦があった。

選考委員会においてメール審議を行い、推薦のあったすべての学生について学生奨励賞を授与することに決定した。

氏名	所属
斉藤 靖之	弘前大学理工学部 電子情報システム工学科
小山田 征志	岩手大学工学部情報システム工学科
入江 若菜	秋田大学工学資源学部情報工学科
チャン チュオン ドック ヤン	鶴岡工業高等専門学校制御情報工学科
三浦 潤也	山形大学工学部情報科学科
佐々木 崇人	東北大学工学部情報工学科
眞坂 和志	東北工業大学工学部情報通信工学科
栗山 大	仙台電波工業高等専門学校専攻科 情報システム工学専攻
川野 亮平	会津大学コンピュータ理工学部 コンピュータソフトウェア学科

表彰式は、それぞれの大学等で卒業式などの機会に行ってもらったこととした。

情報処理学会東北支部 平成18年度 支部奨励賞 受賞者一覧

平成18年8月31日、9月1日に開催された電気関係学会東北支部連合大会と、平成18年1月～12月に開催された研究会（計5回）のそれぞれにおいて、座長より合計16件（連合大会より11件、研究会より5件）の推薦があった。

それぞれの推薦論文について事前に有識者による査読を行い、その結果などをもとに平成19年3月29日に開催された選考委員会、および平成19年4月19日に開催された東北支部役員会において審議した結果、以下の受賞者を決定した。

- 東北支部連合大会

- － 堀 和樹（秋田大学）
「アナログ・デジタル信号を用いたハイブリッド伝送方式」
- － 南部 淳（東北大学）
「需要点と供給点があるグラフの分割アルゴリズムの性能評価」
- － 菅原 健（東北大学）
「漏洩電磁波による共通鍵暗号処理ハードウェアの動作解析」

- 研究会

- － 松本 直也（会津大学）
「クレーター自動検出プログラムの開発」
- － 中川 拓也（仙台電波高等専門学校）
「薬剤感受性試験の迅速化を目的とした画像処理アルゴリズム」

情報処理学会東北支部
第2回 野口研究奨励賞 受賞者一覧

第2回 野口研究奨励賞に4件の応募があり、平成19年3月29日に開催された選考委員会、および平成19年4月19日に開催された東北支部役員会において慎重に審議した結果、以下の1名を受賞者とすることに決定した。

- 伊藤 健洋（東北大学大学院情報科学研究科・助手）
「Partitioning Trees of Supply and Demand」
International Journal of Foundations of Computer Science,
Vol. 16, No. 4, pp. 803-827. (2005)

平成 17 年 11 月 14 日 支部役員会制定

情報処理学会東北支部 学生奨励賞に関する要項

1. 目的

この要項は、情報処理学会東北支部表彰規定第 2 条 (2) 項に基づき実施する、「情報処理学会東北支部学生奨励賞」の表彰に関わる事項について定めるものとする。

2. 趣旨

東北地方の情報処理分野を教える主要大学と主要高専の卒業生の成績優秀者各 1 名に対し、「学生奨励賞」を授与し、情報処理分野を学ぶ東北地区の学生が、より一層、情報処理分野の勉学に勤しむように奨励するものである。

3. 対象

表彰の対象者は、次のとおりとする。

- (1) 情報関連の教育・研究活動を行っている学科（以下、情報関連学科）を持つ大学または高専の卒業年度生で、成績優秀な学生。
- (2) 大学にあっては、修士課程への進学予定者であること。高専にあっては、専攻科への進学、他大学への編入学、他大学院の修士課程への進学予定者であること。
- (3) 情報処理学会学生会員、もしくは入会を希望しているものであること。
- (4) 原則として、電子情報通信学会東北支部における同奨励賞の候補者は対象外とする。

4. 選考

- (1) 本奨励賞に賛同する大学・高専の情報関連学科は、成績優秀で意欲的な学生 1 名を推薦する。推薦の基準は各学科に一任する。
- (2) 支部長が役員から任命する「学生奨励賞選考委員会」を設置し、支部長が委員長となり、受賞者の選考を行う。
- (3) 受賞者は、原則として毎年度 10 名程度とする。

5. 表彰

受賞者には、賞状と一年間の学生会費分相当の賞金を授与する。（ただし、受賞学生が非会員の場合には、必ず学生会員として入会すること。）さらに、図書カード 5,000 円分を授与する。

6. 雑則

本要項の改廃は、支部役員会の議決により行う。

以上

資料 6

東北地区にある情報関連学科を持つ大学等一覧

所在地	学校名	情報関連学科	推薦	学生会員数	推薦候補
青森	弘前大学	理工学部電子情報工学科	○	1	○
	八戸工業大学	工学部システム情報工学科等	○		○
	青森大学	ソフトウェア情報学部	×		×
	八戸高専	電気情報工学科	×		×
	岩手大学	工学部情報システム工学科	○		○
	岩手県立大学	ソフトウェア情報学部	×	16	○
	一関高専	電気情報工学科	×		×
	秋田大学	工学資源学部情報工学科	○	11	○
	秋田県立大学	システム科学技術学部電子情報システム学科	×	2	×
	秋田高専	電気情報工学科	×		×
宮城	東北大学	情報科学研究科等	○	36	○
	東北工業大学	工学部情報通信工学科等	○	1	○
	東北学院大学	工学部電気情報工学科	×		×
	仙台電波高専	情報工学科	○	1	○
	石巻専修大学	理工学部情報電子工学科	×		×
	宮城大学	事業構想学部デザイン情報学科情報システムコース	×	1	×
	東北文化学園大学	科学技術学部コンピュータサイエンス学科	×		×
	宮城高専	情報デザイン学科	×		×
	山形大学	工学部情報科学科	○	3	○
	鶴岡高専	制御情報工学科	○		○
福島	東北芸術工科大学	デザイン工学部情報デザイン学科	×		×
	会津大学	コンピュータ理工学部コンピュータソフトウェア学科	○	1	○
	日本大学	工学部情報工学科	×	9	○
	福島大学	理工学群共生システム理工学類	×	2	×
	いわき明星大学	科学技術学部電子情報学科	×		×
	東日本国際大学	経済情報学部経済情報学科情報マネジメントコース	×		×
	福島学院大学	短期大学部情報ビジネス科	×		×
	福島高専	コミュニケーション情報学科	×		×
	合計		10	84	12

経済産業大臣官房
技術総括審議官 殿

〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台1-5
化学会館4F
社団法人 情報処理学会

コンピュータ博物館設立の提言

歴史の展示物を見るとき、われわれは文明文化の発展の中での視座を得る。同様に歴史的人工物を見るとき、発明工夫の道筋を理解し将来の姿を予測し得る。特に工学教育においては、過去の大きく重く単純な装置が果たす役割は大きい。過去の装置は原理が簡単であり、理解が容易であり、身に付く知識になる。たとえば、昔のコンピュータではネオン管の明滅で計算の過程、ループの入れ子が見え、アーキテクチャが文字通りそこに実在した。かつてはこういう体験からコンピュータの勉強が始まったが、今はそれがない。

そういう点で、情報の分野においても、教育や研究のバックアップとして、昔のコンピュータの収集と展示が不可欠である。しかしながら、昔のコンピュータは次々と失われている。しかも、それらはもう二度と作ることは出来ない。過去の工作技術はすでに消滅しているからである。それゆえ、昔のコンピュータで生き残っているものは、一刻を争って保護しなければならない。

1) 我が国の現状

昔のものを収集し、展示し、さらに研究の対象としている国立の歴史系博物館はいくつもある。国立民族学博物館、国立歴史民俗博物館、東京大学総合研究博物館など。これらには当然コンピュータは入っていない。コンピュータの分野からいえば、これらの博物館に相当する施設が必要であった。

東京農工大学、東京理科大学に多少の収集物があり、また企業にも自社の製品を保存しているところがある。それらも組織的に保護しなければ、いつどうなるかわからない。国立科学博物館には何台かのコンピュータが展示されており、現在も収集が続けられているが、ここではコンピュータは一般産業製品の一種として保管されており、コンピュータの体系的な展示ができるわけではない。技術の系統的な発展過程を知ることによって技術革新の本質を学ぶためには、各地に個別に保管されている機器を一堂に集め、体系的に展示することが必要である。

情報処理学会では歴史特別委員会が中心となって我が国のコンピュータに関する貴重な歴史遺産の資料や写真を集めて情報処理学会ホームページの“コンピュータ博物館”(バーチャル博物館)に収録し、展示してきた(<http://www.ipsj.or.jp/katsudou/museum/index.html>)。これは貴重な資料として広く活用されているが、あくまでもバーチャルな展示であり、実物を見たいという要望には応えられていない。

また、同委員会では歴史的コンピュータの保存を各方面に訴えるとともに、それらの所在地の調査を進めている。

2) 海外の状況

目を海外に転じれば、コンピュータの歴史を扱う博物館はいくつも見つかる。

米国

Computer History Museum, Mountain View, California
(<http://www.computerhistory.org/>)

The American Computer Museum, Bozeman, Montana
(<http://www.compustory.com/>)

Intel Museum, Santa Clara, California
(<http://www.intel.com/museum/index.htm>)

National Cryptologic Museum, Fort Meade, Maryland
(<http://www.nsa.gov/museum/>)

ドイツ

Heinz Nixdorf Museum, Paderborn
(http://www.hnf.de/index_en.html)

英国

Bletchley park
(<http://www.bletchleypark.org.uk/>)

3) 提言

わが国にコンピュータが誕生してからちょうど50年が経過し、初期の機器で保存されているものは極めて僅かになっている。古い機器を保存しておくことは、企業にとっても大学や研究機関にとっても、スペースや管理上の負担が大きく、数年前まで残っていた機器が所轄機関の移動や関係者の退任等に伴って廃棄されてしまったという話をあちこちで耳にする。初期の機器の開発に携わった研究者、技術者、利用者は既に高齢に達し、職を退き、あるいは他界した者も少なくない。関係者が不在になるとともに現在辛うじて残っている機器も散逸の危機に晒されている。今始めなければ、コンピュータ博物館の資料集めはますます困難になり、博物館を作ることは絶望的になる。世界最先端のIT国家を目指す日本としては悔いを千載に残すことになろう。

国、地方、業界、学会が連携して、公的なコンピュータ博物館を早期に設立することを強く望むものである。

以上

情報処理学会東北支部 平成18年度活動報告

1 支部総会

日程 : 平成18年5月10日(水)
会場 : 東北大学工学部 電子情報システム・応物系1号館451・453号室
参加者 : 180名(委任状155名を含む)

2 役員会等

2.1 第1回 幹事会

日時 : 平成19年3月29日(木) 12:30~13:30
会場 : 東北大学工学部 電子情報システム・応物系2号館2階207会議室
議題 : 1. 平成18年度支部役員について
2. 平成19年度支部役員改選について
3. 平成19年度支部奨励賞, 支部学生奨励賞, 野口研究奨励賞について
4. 平成18年度活動報告について
5. 平成19年度活動計画について
6. 平成18年度決算について
7. 平成19年度予算について
8. その他

2.2 第1回 役員会

日時 : 平成19年4月19日(木) 16:00~17:00
会場 : 東北大学工学部 電子情報システム・応物系103会議室
議題 : 1. 報告事項
1. 支部役員改選結果報告
2. 支部長会議報告
3. 支部学生奨励賞の受賞者の報告
2. 審議事項
1. 支部奨励賞の受賞者の決定について
2. 第2回 野口研究奨励賞の受賞者の決定について
3. 平成18年度活動報告について
4. 平成19年度活動計画について
5. 平成18年度決算について
6. 平成19年度予算について
7. 平成19年度支部総会について
8. 平成19年度電気関係学会東北支部連合大会について
9. 支部学生奨励賞の推薦依頼校について
3. その他
1. その他

3 事業計画に基づく事業（行事、表彰等）

3.1 電気関係学会東北支部連合大会

日程 : 平成18年8月31日(木), 9月1日(金)
会場 : 秋田大学 手形キャンパス
一般講演 : 350件
参加者数 : 述べ700名
特別講演 :
日時 : 平成18年8月31日(木) 15:20~16:50
場所 : 秋田大学工学資源学部1号館127教室
講師 : 諸星 裕氏(桜美林大学副学長・大学院教授)
演題 : 日本社会の変遷に思うこと
参加者数 : 約120名

3.2 研究講演会

今年度は7回開催した。

- 第324回研究講演会
日程 : 平成18年5月10日(水)
会場 : 東北大学工学部 電子情報システム・応物系101大講義室
講演者 : 中田 篤氏((株)アイティーファーム 取締役)
講演題目 : ITとベンチャーキャピタル
参加者数 : 約260名
- 第325回研究講演会
日程 : 平成18年7月7日(金)
会場 : 岩手大学工学部17番教室
講演者 : 1. 大蒔 和仁氏((独)産業技術総合研究所 研究コーディネータ)
2. 平島 茂氏((株)日立アドバンスデジタル 横浜本部 本部長)
講演題目 : 1. 産総研におけるオープンソースソフトウェア開発状況と
組み込み系への適用可能性について
2. 組み込み分野企業の最前線
参加者数 : 約120名
- 第326回研究講演会
日程 : 平成18年9月27日(水)
会場 : 東北大学工学部 電子情報システム・応物系3号館303号室
講演者 : Professor Pin-Han Ho (University of Waterloo, CANADA)
講演題目 : Availability-Constrained Shared Backup Path Protection (SBPP)
for GMPLS-Based Spare Capacity Reconfiguration
参加者数 : 35名

- 第 327 回研究講演会
 - 日程 : 平成 18 年 11 月 24 日 (金)
 - 会場 : 山形大学工学部 7 号館 203 教室
 - 講演者 : 1. Andre Wlodarczyk (Prof. of Charles de Gaulle University (Lille 3) and Universite Paris Sorbonne (Paris 4))
 - 2. Helene Wlodarczyk (Prof. of Universite Paris Sorbonne (Paris 4))
 - 講演題目 : 1. Concept Reconstruction for Ontology-based Semantics
 - 2. Computer-aided Acquisition of Semantic Knowledge
—the Category of Aspect—
 - 参加者数 : 12 名

- 第 328 回研究講演会
 - 日程 : 平成 18 年 12 月 18 日 (月)
 - 会場 : 秋田大学工学資源学部 5 号館 101 講義室
 - 講演者 : 林 英輔 氏 (麗澤大学国際経済学部教授・情報システムセンター長)
 - 講演題目 : 地域情報化と大学の貢献
 - 参加者数 : 約 70 名

- 第 329 回研究講演会
 - 日程 : 平成 19 年 1 月 15 日 (月)
 - 会場 : 東北大学工学部電気情報系 2 号館 1 階 100 号室
 - 講演者 : Dr. Seok-Hee Hong (University of Sydney and NICTA, Australia)
 - 講演題目 : Theory and Practice of Graph Drawing:
Visualisation and Analysis of Large and Complex Networks

- 第 330 回研究講演会
 - 日程 : 平成 19 年 3 月 16 日 (金)
 - 会場 : 東北大学工学部電気情報系 2 号館 4 階 403 号室
 - 講演者 : Prof. Mohammad Kaykobad
(Bangladesh University of Engineering and Technology)
 - 講演題目 : Majority Spanning Trees and Their Applications to
Scheduling and Ranking Problems
 - 参加者数 : 約 35 名

3.3 研究会

今年度は 6 回開催した。

- 平成 18 年度 第 1 回研究会
 - 日程 : 平成 18 年 12 月 4 日 (月)
 - 会場 : 秋田大学地域共同研究センター 2 階会議室
 - 発表件数 : 16 件
 - 参加者数 : 76 名

- 平成 18 年度 第 2 回研究会
 - 日程 : 平成 19 年 1 月 12 日 (金)
 - 会場 : 岩手大学工学部 一祐会館大会議室
 - 発表件数 : 30 件
 - 参加者数 : 78 名
- 平成 18 年度 第 3 回研究会
 - 日程 : 平成 19 年 1 月 22 日 (月)
 - 会場 : 会津大学コンピュータ理工学部 講義棟中講義室 M10
 - 発表件数 : 24 件
 - 参加者数 : 80 名
- 平成 18 年度 第 4 回研究会
 - 日程 : 平成 19 年 2 月 19 日 (月)
 - 会場 : 弘前大学理工学部 1 号館 4 階 8 番講義室
 - 発表件数 : 12 件
- 平成 18 年度 第 5 回研究会
 - 日程 : 平成 19 年 2 月 24 日 (土)
 - 会場 : 東北学院大学 教養学部 (泉キャンパス)
 - 発表件数 : 18 件
 - 参加者数 : 79 名
- 平成 18 年度 第 6 回研究会
 - 日程 : 平成 19 年 3 月 9 日 (金)
 - 会場 : 山形大学工学部
 - 発表件数 : 43 件
 - 参加者数 : 66 名

3.4 表彰

3.4.1 支部奨励賞

以下の 5 名が受賞した。

- 東北支部連合大会
 1. 堀 和樹 (秋田大学)
「アナログ・デジタル信号を用いたハイブリッド伝送方式」
 2. 南部 淳 (東北大学)
「需要点と供給点があるグラフの分割アルゴリズムの性能評価」
 3. 菅原 健 (東北大学)
「漏洩電磁波による共通鍵暗号処理ハードウェアの動作解析」
- 研究会

1. 松本 直也 (会津大学)
「クレーター自動検出プログラムの開発」
2. 中川 拓也 (仙台電波高等専門学校)
「薬剤感受性試験の迅速化を目的とした画像処理アルゴリズム」

3.4.2 支部学生奨励賞

以下の9名が受賞した。

氏名	所属
斉藤 靖之	弘前大学理工学部
小山田 征志	岩手大学工学部
入江 若菜	秋田大学工学資源学部
チャン チュオン ドック ヤン	鶴岡工業高等専門学校
三浦 潤也	山形大学工学部
佐々木 崇人	東北大学工学部
眞坂 和志	東北工業大学工学部
栗山 大	仙台電波工業高等専門学校専攻科
川野 亮平	会津大学コンピュータ理工学部

3.4.3 野口研究奨励賞

東北大学大学院情報科学研究科の伊藤 健洋氏が「Partitioning Tree of Supply and Demand」という論文で受賞した。

3.5 支部だよりの発行

第211号から第214号まで4回発行。

4 その他特記事項等

4.1 後援

- 平成18年度 東北大学情報シナジーセンター開放講座
 タイトル : 中学生のためのコンピュータ・グラフィックス講座
 : — 3Dゲームを作ろう —
 日時 : 平成18年12月25日、26日
 場所 : 東北大学創造工学センター「発明工房」

情報処理学会東北支部 平成18年度決算報告

項目	H18年度予算額 ①	H18年度決算額 ②	増減額 ①-②	備考
1. 収入	3,761,835	3,762,973	-1,138	
支部交付金	1,800,000	1,800,000	0	
活動支援金	50,000	50,000	0	(財)仙台応用情報学研究振興財団より寄付金
前期繰越金	1,911,735	1,911,735	0	
受取り利息等	100	1,238	-1,138	
2. 支出	2,240,000	1,857,862	382,138	
支部総会	200,000	166,380	33,620	弁当代, 懇親会食事代, 受賞者旅費等
支部連合大会	310,000	310,000	0	連合事務局分担金 210,000円 連合大会分担金 100,000円
講演会	230,000	213,888	16,112	講師謝金(7回開催)
研究会	230,000	245,000	-15,000	補助金(6回開催), 教室使用料等
支部表彰	380,000	213,359	166,641	賞状代, 副賞等
広報発行	80,000	64,800	15,200	支部総会案内はがき等
印刷費	50,000	11,970	38,030	事務局コピー代
通信費	20,000	17,570	2,430	送料, 切手代等
幹事/役員会	100,000	78,415	21,585	役員会1回, 幹事会1回開催
旅費	300,000	214,080	85,920	講演会講師旅費, 研究会学生旅費, 役員旅費等
雑費	20,000	2,400	17,600	振込み手数料, 文房具代等
人件費	320,000	320,000	0	HPメンテナンス・雑用(160,000円/年 x 2名)
3. 差引残高	1,521,835	1,905,111		
予備費	1,521,835			
次期繰越金		1,905,111		

監事監査結果報告

情報処理学会東北支部規約第7条5項の規定に基づき
平成18年度の当支部会計（収支決算）について、会計
帳簿及び証拠書類について監査した結果、適正かつ妥当
であると認めたことを報告いたします。

平成19年 4月 9日

情報処理学会東北支部

監事 菊地 正衡



2006年度 情報処理学会東北支部 役員名簿

2006.8.18 現在

役職		氏名	前任者	所属
支部長	新	牧野 正三	西関 隆夫	東北大学大学院工学研究科
監事	新	菊地 正衡	再任	(株)NTTデータ東北
庶務幹事		佐藤 義郎	再任	(株)NTTデータ東北 企画総務部
	新	鈴木 基之	水木 敬明	東北大学大学院工学研究科
会計幹事	新	斉藤 文雄	再任	富士通株式会社東北営業本部
		福士 将	菅谷 至寛	東北大学大学院情報科学研究科
広報幹事		岡 敏幸	長谷川 悌二	日立東日本ソリューションズ
	新	北形 元	和泉 勇治	東北大学電気通信研究所
評議員	新	西関 隆夫	根元 義章	東北大学大学院情報科学研究科
	新	水木 敬明	満保 雅浩	東北大学 情報シナジーセンター
		菅谷 至寛	菅沼 拓夫	東北大学大学院工学研究科
	新	和泉 勇治	三浦 一之	東北大学大学院情報科学研究科
	新	小野口 一則	水田 智史	弘前大学理工学部電子情報工学科
		苫米地 宣裕	高橋 良英	八戸工業大学システム情報工学科
	新	大窪 嘉壽	再任	青森公立大学
	新	西田 眞	再任	秋田大学工学資源学部情報工学科
	新	小澤 一文	再任	秋田県立大学システム科学技術学部電子情報システム学科
		李 仕剛	鈴木 正幸	岩手大学工学部情報システム工学科
	新	布川 博士	再任	岩手県立大学ソフトウェア情報学部
	新	後藤 源助	平中 幸雄	山形大学工学部情報科学科
		木下 哲男	加藤 寧	東北大学情報シナジーセンター
	新	小島 正美	再任	東北工業大学情報通信工学科
	新	岩本 正敏	再任	東北学院大学工学部
		千葉 慎二	竹茂 求	仙台電波工業高等専門学校情報工学科
	新	齋藤 寛	程 子学	会津大学コンピュータ理工学部
	新	阿部 健一	成田 祐一	日本大学工学部情報工学科
	新	山本 敏孝	再任	日本電気東北支社公共第二営業部
		秋山 正史	再任	NECソフトウェア東北
		小田島 達郎	再任	日本アイ・ビー・エム株式会社 ゼネラル・ビジネス事業部 東日本支社
	新	星川俊則	榊原 一也	東芝ソリューション株式会社東北支社
	新	瓜生 広仁	再任	株式会社富士通東北システムズ

情報処理学会東北支部 平成19年度 役員改選結果

平成19年3月22日付で、本部事務局より牧野支部長へ平成19年度支部役員改選結果が通知された（2007情処総第39号）。

改選結果の詳細は以下のとおりである。

投票用紙発送数 : 585 件
(1月現在会費納入済の正会員および名誉会員)
投票数 : 149 票
投票率 : 25.4%

開票結果

役職	候補者 氏名	結果
庶務幹事	佐藤 義郎	当選
広報幹事	岡 敏幸	当選
会計幹事	本間 尚文	当選
評議員	福士 将	当選
評議員	苫米地 宣裕	当選
評議員	李 仕剛	当選
評議員	木下 哲男	当選
評議員	千葉 慎二	当選
評議員	秋山 正史	当選

2007年度 情報処理学会東北支部 役員名簿 (案)

2007.5.9 現在

役職	氏名	前任者	所属
支部長	牧野 正三	西関 隆夫	東北大学大学院工学研究科
監事	菊地 正衡	再任	(株)NTTデータ東北
庶務幹事	新 佐藤 義郎	再任	(株)NTTデータ東北 企画総務部
	鈴木 基之	水木 敬明	東北大学大学院工学研究科
会計幹事	齊藤 文雄	再任	富士通株式会社東北営業本部
	新 本間 尚文	福士 将	東北大学大学院情報科学研究科
広報幹事	新 岡 敏幸	再任	日立東日本ソリューションズ
	北形 元	和泉 勇治	東北大学電気通信研究所
評議員	西関 隆夫	根元 義章	東北大学大学院情報科学研究科
	水木 敬明	満保 雅浩	東北大学 情報シナジーセンター
	新 福士 将	菅谷 至寛	東北大学大学院情報科学研究科
	和泉 勇治	三浦 一之	東北大学大学院情報科学研究科
	小野口 一則	水田 智史	弘前大学理工学部電子情報工学科
	新 苔米地 宣裕	再任	八戸工業大学システム情報工学科
	大窪 嘉壽	再任	青森公立大学
	西田 眞	再任	秋田大学工学資源学部情報工学科
	小澤 一文	再任	秋田県立大学システム科学技術学部電子情報システム学科
	新 李 仕剛	再任	岩手大学工学部情報システム工学科
	布川 博士	再任	岩手県立大学ソフトウェア情報学部
	後藤 源助	平中 幸雄	山形大学工学部情報科学科
	新 木下 哲男	再任	東北大学情報シナジーセンター
	小島 正美	再任	東北工業大学情報通信工学科
	岩本 正敏	再任	東北学院大学工学部
	新 千葉 慎二	再任	仙台電波工業高等専門学校情報工学科
	齋藤 寛	程 子学	会津大学コンピュータ理工学部
	阿部 健一	成田 祐一	日本大学工学部情報工学科
	山本 敏孝	再任	日本電気東北支社公共第一営業部
	新 秋山 正史	再任	NECソフトウェア東北
	新	小田島 達郎	
	星川俊則	榊原 一也	東芝ソリューション株式会社東北支社
	瓜生 広仁	再任	株式会社富士通東北システムズ

平成19年度活動計画（案）

1 支部総会

日程：平成19年5月9日（水）13:00～14:00

会場：東北大学工学部電子情報システム・応物系 451・453 会議室

2 役員会等

役員会：1～2回程度開催予定

幹事会：1～2回程度開催予定

3 各種事業（行事、表彰等）

研究講演会：10回程度開催予定

研究会：5回程度開催予定

支部奨励賞：5名程度表彰予定

支部学生奨励賞：10名程度表彰予定

支部野口研究奨励賞：1名程度表彰予定

情報処理学会東北支部 平成19年度予算

項目	H19年度予算額 ①	H18年度決算額 ②	増減額 ①-②	備考
1. 収入	3,765,211	3,762,973	2,238	
支部交付金	1,810,000	1,800,000	10,000	
活動支援金	50,000	50,000	0	(財)仙台応用情報学研究振興財団より寄付金
前期繰越金	1,905,111	1,911,735	-6,624	
受取り利息等	100	1,238	-1,138	
2. 支出	2,070,000	1,857,862	212,138	
支部総会	200,000	166,380	33,620	弁当代, 懇親会食事代, 受賞者旅費等
支部連合大会	310,000	310,000	0	連合事務局分担金 210,000円 連合大会分担金 100,000円
講演会	230,000	213,888	16,112	講演会10回程度予定, 教室使用料等
研究会	230,000	245,000	-15,000	研究会5回程度予定, 教室使用料等
支部表彰	250,000	213,359	36,641	賞状代, 副賞等
広報発行	80,000	64,800	15,200	支部総会案内はがき等
印刷費	20,000	11,970	8,030	事務局コピー代
通信費	20,000	17,570	2,430	送料, 切手代等
幹事/役員会	100,000	78,415	21,585	役員会, 幹事会1~2回程度予定
旅費	300,000	214,080	85,920	講演会講師旅費, 研究会学生旅費, 役員旅費等
雑費	10,000	2,400	7,600	振込み手数料, 文房具代等
人件費	320,000	320,000	0	HPメンテナンス・雑用(160,000円/年 x 2名)
3. 差引残高	1,695,211	1,905,111		
予備費	1,695,211			
次期繰越金		1,905,111		

平成9年4月23日 改正施行

情報処理学会東北支部規約

(設置・名称)

第1条 情報処理学会定款第3条により、東北地区（青森・岩手・秋田・宮城・山形・福島）の6県を一円とした地域をいう。以下同じ。）に支部をおき、情報処理学会東北支部（以下「支部」という。）と称する。

(目的)

第2条 支部は、東北地区において情報処理学会（以下「学会」という。）の目的を遂行する。

(事業)

第3条 支部は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 情報処理に関する調査研究
- (2) 情報処理に関する講演会、講習会、見学会等の開催
- (3) 情報処理に関する知識の普及および広報活動
- (4) 機関誌、図書および刊行物の発行ならびに取次等
- (5) その他、目的達成に必要な事項

(会員)

第4条 支部の会員（以下「支部会員」という。）は、東北地区に在住または勤務する学会の会員とする。

第5条 支部に次の役員をおく。

- (1) 支部長 1名
- (2) 支部幹事 8名以内
- (3) 支部監事 1名
- (4) 支部評議員 若干名

第6条 支部長、支部幹事および支部監事は、支部に属する学会の正会員（以下「支部会員」という。）の互選によって、支部評議員は、支部正会員および賛助会員の中から正会員の選挙によって定める。

第7条 支部長は、支部を代表し、支部を統括する。

2. 支部長は、支部総会、支部役員会および支部幹事会を召集し、その議長となる。
3. 支部長が欠けた場合、または事故があるときは、あらかじめ支部長が指名した支部幹事または支部評議員が代行するものとする。
4. 支部幹事は、支部長を助けて支部の事業を遂行する。
5. 支部監事は、支部の会計について監査を行う。
6. 支部評議員は、支部長と協力して支部の事業の遂行を援助する。

(役員任期)

第8条 支部役員任期を次のように定める。

- (1) 支部長および支部監事の任期は2年とする。
- (2) 支部幹事の任期は2年とし、毎年約半数を改選する。ただし、再任を妨げない。
- (3) 支部評議員の任期は2年とし、再任を妨げない。
- (4) 前3号にかかわらず、役員に欠員が生じた場合は、支部幹事会で後任を選任することができる。ただし、その任期は前任者の残余の期間とする。

(総会)

- 第9条 支部総会は、年1回開催する。ただし、必要に応じて臨時に開催することができる。
2. 支部総会は、支部正会員の10分の1以上の出席をもって成立する。ただし、あらかじめ委任状を提出した者は出席者とみなす。
 3. 支部会員の過半数から、理由を示して要求があった場合は、臨時支部総会を開くものとする。
 4. 議決は、出席者の過半数をもって行い、可否同数のときは、議長の決するところとする。
 5. 支部総会の付議事項は、次のとおりとする。
 - (1) 事業に関する事項
 - (2) 予算および決算に関する事項
 - (3) 支部役員選出に関する事項
 - (4) 支部規約の改廃に関する事項
 - (5) その他、支部幹事会が必要と認めた事項

(幹事会)

- 第10条 支部幹事会は、支部長および支部幹事をもって組織する。
2. 支部幹事会は、必要の都度開催し、支部の運営および事業の実施に必要な事項に関して審議する。

(役員会)

- 第11条 支部役員会は、支部長および支部幹事、支部監事、支部評議員をもって構成する。
2. 支部役員会は、必要の都度開催し、次の事項を審議する。
 - (1) 支部総会に提出する議案
 - (2) 支部の事業の実施に関する事項
 - (3) その他、支部の運営に関して必要な事項

(会計)

- 第12条 支部の経費は、本部からの交付金およびその他の収入金をもって充てる。
- 第13条 支部の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。
- 第14条 支部の業務を処理するため、事務局を設け、事務局に事務職員、その他必要な職員をおくことができる。

(雑則)

- 第15条 本規約は、支部総会において出席者の3分の2以上の賛成を得なければ改廃できない。なお、その結果を理事会に報告するものとする。
- 第16条 本規約に定めるもののほか、支部の運営に関する必要な事項は別に定める。

付則

この規約は、昭和47年1月29日から施行する。

この規約は、昭和47年2月17日から改正施行する。

この規約は、昭和48年5月24日から改正施行する。

この規約は、平成3年2月7日から改正施行する。

この規約は、平成9年4月23日から改正施行する。

平成 19 年 5 月 9 日 改正施行

情報処理学会東北支部規約（案）

（設置・名称）

第 1 条 情報処理学会定款第 3 条により、東北地区（青森・岩手・秋田・宮城・山形・福島の 6 県を一円とした地域をいう。以下同じ。）に支部をおき、情報処理学会東北支部（以下「支部」という。）と称する。

（目的）

第 2 条 支部は、東北地区において情報処理学会（以下「学会」という。）の目的を遂行する。

（事業）

第 3 条 支部は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 情報処理に関する調査研究
- (2) 情報処理に関する講演会、講習会、見学会等の開催
- (3) 情報処理に関する知識の普及および広報活動
- (4) 機関誌、図書および刊行物の発行ならびに取次等
- (5) その他、目的達成に必要な事項

（会員）

第 4 条 支部の会員（以下「支部会員」という。）は、東北地区に在住または勤務する学会の会員とする。

第 5 条 支部に次の役員をおく。

- (1) 支部長 1 名
- (2) 支部幹事 8 名以内
- (3) 支部監事 1 名
- (4) 支部評議員 若干名

第 6 条 支部長、支部幹事および支部監事は、支部に属する学会の正会員（以下「支部正会員」という。）の選挙（互選）によって定める。

2. 支部評議員は、支部正会員および賛助会員の中から支部長が委嘱する。

第 7 条 支部長は、支部を代表し、支部を統括する。

2. 支部長は、支部総会、支部役員会および支部幹事会を召集し、その議長となる。
3. 支部長が欠けた場合、または事故があるときは、あらかじめ支部長が指名した支部幹事または支部評議員が代行するものとする。
4. 支部幹事は、支部長を助けて支部の事業を遂行する。
5. 支部監事は、支部の会計について監査を行う。
6. 支部評議員は、支部長と協力して支部の事業の遂行を援助する。

（役員任期）

第 8 条 支部役員任期を次のように定める。

- (1) 支部長および支部監事の任期は2年とする。
- (2) 支部幹事の任期は2年とし、毎年約半数を改選する。ただし、再任を妨げない。
- (3) 支部評議員の任期は2年とし、再任を妨げない。
- (4) 前3号にかかわらず、役員に欠員が生じた場合は、支部幹事会で後任を選任することができる。ただし、その任期は前任者の残余の期間とする。

(総会)

第9条 支部総会は、年1回開催する。ただし、必要に応じて臨時に開催することができる。

2. 支部総会は、支部正会員の10分の1以上の出席をもって成立する。ただし、あらかじめ委任状を提出した者は出席者とみなす。
3. 支部会員の過半数から、理由を示して要求があった場合は、臨時支部総会を開くものとする。
4. 議決は、出席者の過半数をもって行い、可否同数のときは、議長の決するところとする。
5. 支部総会の付議事項は、次のとおりとする。

- (1) 事業に関する事項
- (2) 予算および決算に関する事項
- (3) 支部役員選出に関する事項
- (4) 支部規約の改廃に関する事項
- (5) その他、支部幹事会が必要と認めた事項

(幹事会)

第10条 支部幹事会は、支部長および支部幹事をもって組織する。

2. 支部幹事会は、必要の都度開催し、支部の運営および事業の実施に必要な事項に関して審議する。

(役員会)

第11条 支部役員会は、支部長および支部幹事、支部監事、支部評議員をもって構成する。

2. 支部役員会は、必要の都度開催し、次の事項を審議する。
 - (1) 支部総会に提出する議案
 - (2) 支部の事業の実施に関する事項
 - (3) その他、支部の運営に関して必要な事項

(会計)

第12条 支部の経費は、本部からの交付金およびその他の収入金をもって充てる。

第13条 支部の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第14条 支部の業務を処理するため、事務局を設け、事務局に事務職員、その他必要な職員をおくことができる。

(雑則)

第15条 本規約は、支部総会において出席者の3分の2以上の賛成を得なければ改廃できない。なお、その結果を理事会に報告するものとする。

第16条 本規約に定めるもののほか、支部の運営に関する必要な事項は別に定める。

付則

この規約は、昭和47年1月29日から施行する。

この規約は、昭和47年2月17日から改正施行する。

この規約は、昭和48年5月24日から改正施行する。

この規約は、平成3年2月7日から改正施行する。

この規約は、平成9年4月23日から改正施行する。

この規約は、平成19年5月9日から改正施行する。

平成19年度 電気関係学会東北支部連合大会 実施計画

1 実施計画の概要

- 主催学会 : 電気学会, 電子情報通信学会, 照明学会, 日本音響学会
映像情報メディア学会, 情報処理学会, 電気設備学会 (各東北支部)
IEEE Sendai Section
- 幹事学会 : 情報処理学会
- 大会期日 : 平成19年8月23日(木)～24日(金)
- 大会会場 : 弘前大学工学部 文京町キャンパス
(〒036-8561 青森県弘前市文京町3番地)

2 大会日程

日程	月日	内容		
第1日目	8月23日(木)	午前	一般講演	展示会
		午後	一般講演 特別講演 (夜:懇親会)	
第2日目	8月24日(金)	午前	一般講演	展示会
		午後	一般講演	

3 一般講演

- 日時 : 8月23日(木) 9:00～15:00
8月24日(金) 9:00～17:00
- 講演内容 : 各専門分野で最近行った研究の発表, 各専門分野で最近行った工事報告, 現場実験報告, 新製品の紹介等

4 特別講演

- 日時 : 8月23日(木) 午後
- 場所 : 弘前大学 創立50周年記念会館みちのくホール
- 講師 : 岡田 康博 氏 (青森県教育庁文化財保護課 三内丸山遺跡対策室長)
- 演題 : 三内丸山遺跡関係 (仮)

5 懇親会

日時 : 8月23日(木) 18:00~20:00
場所 : シティ弘前ホテル
会費 : 一般:5,000円, 学生:3,000円(予定)

6 展示会(製品カタログ展示)

場所 : 弘前大学

7 現地担当実行委員

現地実行委員長 : ○深瀬 政秋
(大会副委員長)
庶務 : ○水田 智史, 長瀬 智行, 小野口 一則, 吉岡 良雄
特別講演 : ○中澤 日出樹, 中島 健介
会場(含 駐車場) : ○丹波 澄雄, 荒木 喬, 清水 俊夫
懇親会 : ○一條 健司, 真下 正夫
アルバイト : ○種田 晃人, 斎藤 稔, 雨森 道紘
会計 : ○岡崎 功, 小西 榮一

(○は責任者)